

令和8年8月15日 小垣江地区広報部

7月16日(木) 夏の交通安全県内一斉大監視

夏休みも目前。この日は県内で夏の交通安全一斉大監視が行われました。今回も見守り隊・パトロール隊・地区委員・女性部などが子供達の通学に付き添い、主要な交差点で立哨しました。交通指導員の方の見守りの中、子供達は手を上げて横断歩道を渡っていき、最後に大きな声であいさつをしてくれました。夏休みの間もこの習慣を続けて交通事故の起きることなく新学期を迎えて欲しいですね。

**小垣江地区盆踊りの練習**

8月13、14日に小垣江小学校、8月15日に小垣江東小学校で地区盆踊り大会を開催。本番に向けた盆踊りの練習を、小垣江小学校では、7月23、24、25日、小垣江東小学校では7月30、31日、8月1日に実施されました。青年団が中心となって、全12曲を3日間に分けてみんなで楽しく練習できました。

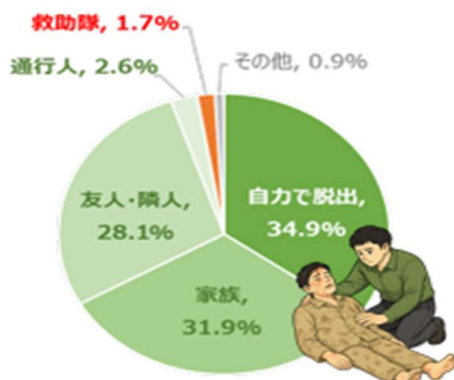


小垣江防災通信 第3回 安否確認の大切さ

毎年9月に行われる安否確認訓練。「やる意味なんてあるのか？」と思っていませんか？

● 公共機関には、つながりません！

南海トラフ地震など大災害発生時は、警察や消防などの公共機関に通報しても、救助が期待できません。なぜなら、公共機関の職員さんも、我々と同じ地域に住む“被災者”だからです。



出典：内閣府「平成26年度版防災白書」より作成

● 一刻を争う安否確認

発災時は、白布確認隊員が各戸の安否確認に回ります。白布掲示されていると、外から一目で無事と分かり、より早く多くの人の安否を確認できます。



● 誰に助けられたか？

左のグラフは、阪神淡路大震災において調査した結果です。救助隊に助けられた人は2%以下。頼るべきは、近所の力（近助）です。

次回 R8年9月6日の訓練より、実施方法を若干変更します。
詳しい実施方法は、7月中に役員向けに説明します。

安否確認方法
はこちら



小垣江防災通信 第4回 携帯トイレを備えよう

● 災害時は水洗トイレが使えない



出典：日本トイレ研究所、
能登半島地震のトイレ(2024.1)

さらに詳しく
知りたい方は...



日本トイレ研究所

● あなたなら、どうしますか？

- ① 我慢する ⇒ 復旧まで何日も関わります。我慢すると命にかかわります。
- ② 避難所や公園に行く ⇒ どのトイレも水は流せません。
- ③ 自宅庭など屋外で用を足す ⇒ 女性やお年寄りはどうしますか？



● 自宅トイレ（便座として）＋携帯トイレで、1週間しのぐ

自宅が倒壊せず、個室として利用できるなら...

“携帯トイレ”を備蓄する

家族人数 × 5回/日 × 1週間分（4人家族なら140回分）



便・尿を凝固剤で固める ➡ 蓋つきバケツに保存し、後日可燃ごみとして廃却

8月中旬
～9月中旬
の予定

- ・ 8月 15日(土) わんさか祭り（市総合運動公園）・・・刈谷市観光協会
- ・ 8月 24日(月) 地藏盆盆踊り（誓満寺）・・・青年団
- ・ 9月 6日(日) 地区一斉安否確認訓練・・・地区、自主防災会、全世帯
- ・ 9月 13日(日) 市民館及びJ A跡地の除草作業・・・地区委員、女性部
- ・ 9月 20日(日) 敬老会（小垣江小学校体育館）・・・地区、女性部、青年団